

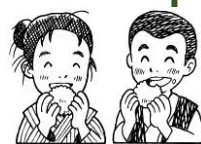
1月24日～30日は

『全国学校給食週間』です

～藤市と全国の学校給食の歴史をたどろう～

明治22年に山形県の忠愛^{ちゅうあい}小学校で学校給食が始まってから133年が経ちました。戦争によって中止されながらも、様々な歴史をたどり、現在まで続いています。

『全国学校給食週間』には、昔の給食を振りかえる献立が登場します。家庭でも「思い出の給食」「懐かしい給食」について、お話してみてもはいかがでしょうか？



学校給食の歴史

○…全国のできごと
★…藤市のできごと

明治二十二年

○山形県の私立忠愛^{ちゅうあい}小学校で生活が苦しい家庭の子供たちに給食を提供し始める。

昭和十五年

★第一藤小学校（現在の北小学校）で、石田パン菓子店の石田秀夫さんの協力のもと、全国で初めて学校給食でパンが提供される。

昭和二十二年

○戦争が終わり、一時中止していた給食が再開される。

★PTAの協力により、北小・東小でミルクなどの補食給食が再開される。

※ミルク：脱脂^{だっしふん}粉乳のこと。牛乳から脂肪分を取り除いて粉にし、

お湯などで溶いたもの。

昭和二十九年

○学校給食法により、学校給食の提供内容が決められる。

★北小・西小・東小・中央小・南小でパン・ミルク・おかずのそろった

完全給食が始まる。

昭和四十年

○脱脂^{だっしふん}粉乳から牛乳へと切りかわる。

★中学校三校で牛乳のみの給食が始まる。

昭和四十三年

★第二中学校の東となりに旧学校給食センターが完成する。

昭和四十四年

★単独校方式からセンター方式へ変わる。

★中学校でも完全給食が始まる。

昭和五十五年

★ごはん給食が始まる。

昭和五十九年

★現在の学校給食センターが完成する。

平成十四年

★栄養士による食の指導が始まる。

平成十七年

○食育基本法が定められる。

今では様々な料理が給食で味わえるようになりました。食べられることに感謝していただきましょう！



昔の給食を再現した献立が出ます

～明治22年の給食～

23日

・鮭の塩焼き
・すいとん



～昭和25年頃の給食～

24日

・コッペパン
・シチュー



～昭和40年頃の給食～

27日

・ソフトめん
・ミートソース

